



平成30年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月6日

上場会社名 株式会社東計電算
コード番号 4746 URL <http://www.toukei.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 甲田 博康

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 甲田 英毅

TEL 044-430-1311

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	7,048	7.1	1,282	7.7	1,443	12.0	997	12.7
29年12月期第2四半期	6,583	3.0	1,190	4.5	1,289	3.7	885	10.6

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 1,137百万円 (27.9%) 29年12月期第2四半期 889百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	108.43	107.87
29年12月期第2四半期	96.49	96.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第2四半期	27,031	22,047	81.5	2,394.57
29年12月期	26,176	21,634	82.6	2,351.23

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 22,028百万円 29年12月期 21,615百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		80.00	80.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、「取締役会の決議により、毎年6月30日を基準日として、中間配当を行うことができる。」旨を定款に定めております。

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,505	8.4	2,829	9.7	3,210	9.0	2,211	9.2	240.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	9,350,000 株	29年12月期	9,350,000 株
期末自己株式数	30年12月期2Q	150,757 株	29年12月期	156,557 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	9,198,626 株	29年12月期2Q	9,172,018 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国発の通商問題や資源価格上昇への懸念により景気後退リスクが意識され、景気は二期連続で軟調に推移いたしました。また、深刻化する人手不足が企業業績の重荷となっております。今後も円高やトランプ米大統領の保護主義政策の動向が懸念され、景気の先行きに対する見方は慎重になっております。

当業界におきましては、ユーザ企業における設備投資計画が例年に比べて依然として高い水準になっており、今後の為替動向が懸念されるものの、情報化投資も堅調に推移すると考えられます。具体的には、AIやIoT (Internet of Things) 等の最新技術を活用した商品開発やサービスの提供に期待が寄せられております。

このような環境のなかで、当社グループは、システムインテグレータとして、多様化するお客様のニーズにフレキシブルに対応するため、業種別ソリューション、アウトソーシング、ネットワークの3つの重点戦略を掲げ、積極的に営業展開を進めてまいりました。

具体的には、①システム運用業務売上の拡大、②業種別ERPの促進、③人材育成の拡充を重点施策として掲げ、取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高70億48百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益12億82百万円（同7.7%増）、経常利益14億43百万円（同12.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益9億97百万円（同12.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①情報処理・ソフトウェア開発業務

情報処理・ソフトウェア開発業務としましては、ソフトウェア業務、システム運用業務、ファシリティサービス業務等であります。当第2四半期連結累計期間においては、システム運用業務が堅調に推移するとともにソフトウェア開発業務においても受注が堅調となり、売上高は62億53百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は11億51百万円（同6.7%増）となりました。

②機器販売業務

機器販売業務としましては、当社で開発したシステムに必要なサーバ、パソコン、プリンター、周辺機器等のハードウェアの販売業務であります。当第2四半期連結累計期間においては、販売数量は減少したものの、収益構造が改善したため、売上高は6億14百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は97百万円（同25.7%増）となりました。

③リース等その他の業務

リース等その他の業務としましては、各種事務用機器のリース、ビル・マンションの不動産賃貸の業務であります。当第2四半期連結累計期間においては、主要な取引先である建設業界の受注環境が前期に比べて改善し、売上高は1億80百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は33百万円（同0.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は270億31百万円となり、主として有価証券及び投資有価証券の増加により前連結会計年度末に比べて8億55百万円増加しました。総負債は49億83百万円となり、主として繰延税金負債の増加により前連結会計年度末に比べて4億42百万円増加しました。純資産は220億47百万円となり、主として利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べて4億13百万円増加しました。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローが14億29百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローが10億95百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローが7億26百万円の減少となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して3億92百万円減少し、11億34百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの増加は、主として税金等調整前四半期純利益14億41百万円によるものです。なお、前年同四半期連結累計期間は11億14百万円の増加でした。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの減少は、主として投資有価証券の取得による支出21億9百万円によるものです。なお、前年同四半期連結累計期間は7億94百万円の減少でした。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの減少は、主として配当金の支払額7億35百万円によるものです。なお、前年同四半期連結累計期間は6億23百万円の減少でした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月7日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,526,395	1,134,262
受取手形及び売掛金	2,065,823	2,110,172
有価証券	500,988	693,969
商品	11,064	11,359
仕掛品	970,793	914,991
関係会社短期貸付金	—	12,291
繰延税金資産	122,227	121,493
その他	194,513	642,228
貸倒引当金	△1,199	△199
流動資産合計	5,390,606	5,640,569
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,469,222	2,391,976
機械装置及び運搬具(純額)	36,470	36,381
土地	4,385,990	4,385,990
その他(純額)	538,526	552,971
有形固定資産合計	7,430,210	7,367,321
無形固定資産		
のれん	7,999	6,999
その他	7,131	7,055
無形固定資産合計	15,131	14,055
投資その他の資産		
投資有価証券	13,292,288	13,951,347
退職給付に係る資産	2,414	13,609
その他	45,568	44,439
貸倒引当金	—	△14
投資その他の資産合計	13,340,271	14,009,381
固定資産合計	20,785,613	21,390,757
資産合計	26,176,220	27,031,327

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	466,581	625,726
未払法人税等	536,600	451,800
賞与引当金	266,635	273,468
役員賞与引当金	9,600	—
その他	2,150,549	2,456,410
流動負債合計	3,429,967	3,807,405
固定負債		
役員退職慰労引当金	24,894	25,220
繰延税金負債	1,079,876	1,144,134
その他	7,013	7,013
固定負債合計	1,111,783	1,176,367
負債合計	4,541,750	4,983,772
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,370,150	1,370,150
資本剰余金	1,384,969	1,387,077
利益剰余金	16,610,170	16,872,064
自己株式	△234,538	△226,039
株主資本合計	19,130,751	19,403,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,544,554	2,678,318
退職給付に係る調整累計額	△59,378	△53,349
その他の包括利益累計額合計	2,485,176	2,624,969
新株予約権	18,129	18,918
非支配株主持分	411	412
純資産合計	21,634,469	22,047,554
負債純資産合計	26,176,220	27,031,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	6,583,830	7,048,364
売上原価	4,386,363	4,696,823
売上総利益	2,197,467	2,351,540
販売費及び一般管理費	1,007,435	1,069,516
営業利益	1,190,031	1,282,023
営業外収益		
受取利息	22,500	20,890
受取配当金	150,144	187,301
有価証券売却益	53,649	10,114
有価証券償還益	—	645
貸倒引当金戻入額	170	1,000
雑収入	11,295	15,024
営業外収益合計	237,759	234,974
営業外費用		
支払利息	31	139
有価証券売却損	135,082	26,379
有価証券償還損	2,630	45,349
雑損失	875	1,826
営業外費用合計	138,620	73,693
経常利益	1,289,170	1,443,305
特別損失		
固定資産除却損	1,408	2,056
特別損失合計	1,408	2,056
税金等調整前四半期純利益	1,287,762	1,441,248
法人税、住民税及び事業税	395,987	440,964
法人税等調整額	6,716	2,907
法人税等合計	402,703	443,871
四半期純利益	885,058	997,377
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	885,049	997,369

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	885,058	997,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,569	133,763
退職給付に係る調整額	5,765	6,029
その他の包括利益合計	4,195	139,793
四半期包括利益	889,254	1,137,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	889,245	1,137,162
非支配株主に係る四半期包括利益	8	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,287,762	1,441,248
減価償却費	199,588	213,983
のれん償却額	1,000	999
受取利息及び受取配当金	△172,644	△208,191
支払利息	31	139
固定資産除却損	1,408	2,056
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△174	△985
売上債権の増減額 (△は増加)	282,785	△44,348
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△59,185	55,507
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	27,319	△7,877
仕入債務の増減額 (△は減少)	△200,990	159,144
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△41,845	23,959
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6,608	△2,521
その他	74,684	67,073
小計	1,393,133	1,700,186
利息及び配当金の受取額	166,504	207,841
利息の支払額	△31	△139
法人税等の支払額	△444,946	△478,286
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,114,659	1,429,602
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△163,536	△91,351
投資有価証券の取得による支出	△1,519,876	△2,109,687
投資有価証券の売却による収入	451,234	494,190
有価証券の償還による収入	447,369	623,986
事業譲受による支出	△10,000	—
貸付けによる支出	—	△12,291
貸付金の回収による収入	240	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△794,568	△1,095,062
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△641,625	△735,475
自己株式の処分による収入	17,772	8,810
その他	△9	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△623,861	△726,672
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△303,770	△392,132
現金及び現金同等物の期首残高	1,135,455	1,526,395
現金及び現金同等物の四半期末残高	831,685	1,134,262

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成29年1月1日 至平成29年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	情報処理・ ソフトウェア開発業務	機器販売業 務	リース等そ の他の業務	計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額（注）
売上高						
(1)外部顧客への売上高	5,780,616	631,901	171,313	6,583,830	—	6,583,830
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,080	—	1,502	2,582	(2,582)	—
計	5,781,696	631,901	172,815	6,586,413	(2,582)	6,583,830
セグメント利益	1,079,215	77,758	33,057	1,190,031	—	1,190,031

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成30年1月1日 至平成30年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	情報処理・ ソフトウェア開発業務	機器販売業 務	リース等そ の他の業務	計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額（注）
売上高						
(1)外部顧客への売上高	6,253,339	614,732	180,291	7,048,364	—	7,048,364
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,080	—	985	2,065	(2,065)	—
計	6,254,419	614,732	181,277	7,050,430	(2,065)	7,048,364
セグメント利益	1,151,163	97,720	33,140	1,282,023	—	1,282,023

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。